

- 1 二度の元寇の際、鎌倉幕府の執権として指揮をとった人物は誰？
 ① 北条高時 ② 北条貞時 ③ 北条時頼 ④ 北条時宗 ☐ ☐
- 2 琵琶法師によって語り継がれた、平氏一族の栄枯盛衰を描いた軍記物語を何という？
 ① 徒然草 ② 方丈記 ③ 平家物語 ④ 古今和歌集 ☐ ☐
- 3 運慶が快慶らと協力して制作した、奈良の東大寺南大門に安置されている有名な彫刻作品を何という？
 ① 金剛力士像 ② 阿弥陀如来像 ③ 釈迦如来像 ④ 観音菩薩像 ☐ ☐
- 4 十字軍の遠征のうち、モンゴル帝国が拡大した13世紀の遠征は、日本の歴史ではどの時代にあたる？
 ① 平安時代 ② 鎌倉時代 ③ 江戸時代 ④ 室町時代 ☐ ☐
- 5 浄土真宗を開き、阿弥陀仏の力を信じる教を説いた僧は誰？
 ① 親鸞 ② 蓮如 ③ 法然 ④ 一遍 ☐ ☐
- 6 日蓮が仏教の真の教えが記されていると説いた經典の名前は何という？
 ① 観無量寿經 ② 阿弥陀經 ③ 法華經 ④ 般若心經 ☐ ☐
- 7 『徒然草』のように、筆者が日々の出来事や感じたことを自由に書き留める文学形式を何という？
 ① 歌集 ② 随筆 ③ 説話集 ④ 軍記物 ☐ ☐
- 8 浄土宗の教えが急激に広まったことを警戒した旧仏教勢力との対立により、法然が讃岐へ流された出来事を何という？
 ① 承久の乱 ② 元寇 ③ 嘉元の法難 ④ 承元の法難 ☐ ☐
- 9 鎌倉幕府が成立当初、支配の中心としていた地域を何という？
 ① 南日本 ② 東日本 ③ 北日本 ④ 西日本 ☐ ☐
- 10 鎌倉時代に御家人が負担した、戦いのための動員や役務を何という？
 ① 軍役 ② 公事 ③ 雑役 ④ 番役 ☐ ☐
- 11 元軍の襲来に備えて、鎌倉幕府が九州北部の海岸に築いた石造りの防衛線を何という？
 ① 寄合 ② 屯所 ③ 防塁 ④ 番役 ☐ ☐
- 12 鎌倉時代に、承久の乱で朝廷側と戦い、勝利を収めた一族を何という？
 ① 平氏 ② 藤原氏 ③ 源氏 ④ 北条氏 ☐ ☐
- 13 モンゴル帝国が中央アジアから支配下に置いた、西側の地域はどこ？
 ① ヨーロッパ東部 ② 東南アジア ③ アフリカ大陸 ④ 地中海沿岸 ☐ ☐
- 14 時宗の僧である一遍が、念仏を唱えながら踊ることで信仰を広めた形式を何という？
 ① 唱題 ② 踊り念仏 ③ 座禅 ④ 念仏 ☐ ☐
- 15 武士が主従関係において、自分の仕える相手のことを何という？
 ① 家臣 ② 將軍 ③ 主君 ④ 幕府 ☐ ☐



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	北条時宗 は鎌倉幕府の第8代執権です。		4 北条時宗	☐
2	『 平家物語 』は、平清盛をはじめとする平氏一族の栄華と、源氏との戦いによる滅亡を描いた作品です。		3 平家物語	☐
3	東大寺南大門に配置された 金剛力士像 は、運慶と快慶らの工房が分担して短期間で完成させました。		1 金剛力士像	☐
4	十字軍が始まった1095年は日本で院政期（平安時代末期）にあたりますが、戦いが本格化した12世紀から13世紀にかけては、ちょうど鎌倉幕府が成立し、発展していく時期にあたります。		2 鎌倉時代	☐
5	親鸞 は、自らの修行ではなく、阿弥陀仏の救いを純粹に信じることを強調しました。		1 親鸞	☐
6	日蓮は、数ある經典の中で『 法華経 』こそが釈迦の教えの真髄であると主張しました。		3 法華経	☐
7	随筆 （エッセイ）は、決まった形式に縛られず、個人の内面や世の中に対する洞察を記すものです。		2 随筆	☐
8	1207年、法然の門弟が起こしたトラブルをきっかけに、旧仏教勢力は朝廷に働きかけました。その結果、法然は 承元の法難 によって讃岐（現在の香川県）へ流罪となり、多くの弟子も処分されました。		4 承元の法難	☐
9	鎌倉幕府の当初の支配圏は、主に「 東日本 」に限られていました。		2 東日本	☐
10	軍役 は、御家人が「奉公」として果たさなければならない主要な義務です。		1 軍役	☐
11	博多湾の沿岸などに高さ約2メートルの石垣を築き、元軍の上陸を阻止するための備えとしました。		3 防塁	☐
12	承久の乱が起こると、執権・北条義時のもとで幕府軍は京都へ進撃しました。		4 北条氏	☐
13	モンゴル帝国の支配はアジアにとどまらず、西へ大きく拡大しました。		1 ヨーロッパ東部	☐
14	「 踊り念仏 」は、楽器の音に合わせて歌い踊りながら念仏を唱えるという、非常に活動的な布教の形です。		2 踊り念仏	☐
15	主君 は、鎌倉幕府においては将軍であり、家臣である御家人に対して領地の保護（御恩）を保証する存在です。		3 主君	☐

言えなかった用語ノート